

# 互助会報

令和7年2月28日

No.255

岩手県教職員互助会  
広報紙



## 表紙写真 あったかいね

【冬の部 入選】

達下 才子 (元任意継続会員)

### 《撮影者のひとこと》

八幡平の平笠裸参りの写真です。  
ぶるぶる震えながら、長い距離を歩き、休憩時間に  
温かい飲み物をいただき、とても嬉しそうな表情を  
撮影しました。

### 《講評》

暖冬で雪の少なかった年、冬の表現を写真にする  
には材料難でしたのでしょうか。  
写真は八幡平市平笠の寒行、俗に[おんな裸参り]  
ですね。早朝から町内を一巡、途中の差し入れで  
しょうか、温かい飲み物を思わずほっぺたに。厳冬  
のいい瞬間を切り取りました。

## CONTENTS

事務局から .....	2~3
公益文化事業について .....	4
「互助会報」表紙写真入賞者決定 .....	5
今、学校から .....	5
◎釜石市立甲子小学校 校長 細田 多聞	

わたしの見聞録 .....	6
◎一関市立黄海小学校 教諭 伊藤 久美	
みんなの投稿広場 .....	6
◎冬の部 佳作入賞作品	
気になる健康アドバイス .....	7
◎甲状腺とは？ 甲状腺の検査	
岩手の文学風土誌 名作紀行 .....	8
◎啄木・賢治の(後期)中等学校「その誇らしくない終わり方」	

## 互助会退会時に受けられる給付について

互助会会員期間が6か月以上の会員が退職又は人事異動により互助会を退会するとき、次の給付金等が支給されます。

### 1 生きがい対策支援助成金

会員期間が6か月以上の会員が退会したとき、会員年数に応じて現金を給付します。

(1) 8,500円×会員年数(入会～平成24年度)

(2) 3,000円×会員年数(平成25年度～)

給付額 (1) + (2) (千円未満切り捨て)

### 2 特別弔慰積立給付金

互助会加入時から平成25年3月まで毎月200円の積立てた額を積立期間に応じて還付します。

※平成25年4月以降、積立てはしていません。

給付額 200円×積立てた月数

### 3 退職慰労記念品費

平成24年度末時点で会員年数が1年以上の会員が退会したとき、会員年数に応じて旅行券を交付します。

会員年数 1年以上10年未満の場合 20,000円

10年以上20年未満の場合 40,000円

20年以上30年未満の場合 60,000円

30年以上の場合 80,000円

※会員年数算定期間は平成25年3月までとなります。(平成25年4月以降の互助会加入者に給付はありません。)

### 4 提出書類

生きがい対策支援助成金・特別弔慰積立給付金・退職慰労記念品費請求書(様式第112号)

### 5 提出期限

退会種別	提出期限	備考
定年退職	令和7年2月7日(金)	
勲奨退職	令和7年4月3日(木)	
普通退職	令和7年4月3日(木)	
会計年度任用、臨時的任用、任期付、再任用で任期満了となったとき(公立学校共済組合岩手支部の資格を喪失するとき)	令和7年4月18日(金)	互助会員期間6か月以上の場合に提出
会計年度任用、臨時的任用、任期付、再任用で公立学校共済組合岩手支部の資格区分が一般組合員から短期組合員(臨時的任用職員・再任用を除く)に変更になったとき	令和7年4月18日(金)	互助会員期間6か月以上の場合に提出
知事部局、市町村教委等へ異動するとき(盛岡市立高校は除く)	令和7年4月3日(木)	産業技術短大、警察学校等へ移動の場合に提出
岩手県公立学校から岩手大学附属幼・小・中・支援学校へ異動するとき	提出不要	互助会資格は引き続き(特別会員となる)

(注) 知事部局や市町村教育委員会に出向した場合や、臨時的任用職員で任用期間に空白がある場合は、再度会員になった時から起算します。再任用職員の場合は、再任用になった時から起算します。



## 退職・退会時の貸付金の返済について

退職又は人事異動により退会される場合、互助会から貸付を受けている方の貸付償還金は、退会後に全額返済していただきます。

なお、4月1日から学校等に再任用される方も同様です。

また、互助会の退職時償還は退職金からの控除はできませんので、振込依頼書による納付となります。

返済の手続きは、次のとおりです。

### 1 退職(退会)前に全額返済する場合

令和7年3月3日(月)までに、当会に連絡してください。3月上旬に振込依頼書を送付します。

(互助会電話番号 019-622-7762)

支払期限 令和7年3月21日(金)

### 2 退職(退会)後に全額返済する場合

生きがい対策支援助成金等の給付金から貸付金を控除します(控除に係る手続きは不要)。

なお、不足分については、別途本人に送付する振込依頼書により期限までに返済していただきます。

支払期限 令和7年4月25日(金)



## 年度末・年度初めの事務手続きについて ～所属担当者の方へ～



### ◆新たに互助会会員資格を取得する方がいる場合

「会員資格取得届出書」(様式第101号)を提出してください。採用区分が臨時的任用、任期付、再任用、会計年度任用職員の場合は「辞令書の写し」を添付してください。任用期間の延長、更新の場合は不要です。

### ◆特別会員所属で人事異動があった場合

年度末人事異動について「令和7年度定期人事異動報告書」を令和7年3月21日(金)までに提出をお願いします。  
※別途通知「令和7年2月14日付け岩教互第49号」をご確認ください。

### ◆令和7年度小学校入学祝金について

令和7年4月に小学校又は特別支援学校小学部に入学する子(平成30年4月2日～平成31年4月1日生)が対象です。父母とも会員の場合は、両方に支給されます。

「小学校入学祝金請求書」(様式第106号)を所属会員分取りまとめの上、提出してください。※別途通知予定

### ◆自己啓発等休業・配偶者同行休業・大学院修学休業を取得する会員がいる場合

休業期間中の掛金は、毎月、又は一括で振込依頼書による納入になります。

休業前に互助会に連絡の上、「休業中掛金納入申出書」(互助会HPからダウンロード可)及び「辞令書の写し」を提出してください。  
なお、期間が変更された場合は、その都度「辞令書の写し」を提出願います。

## 令和7年度から新たに「任意継続会員」になる方へ

令和7年3月31日現在、互助会資格を有している方で、公立学校共済組合の任意継続組合員になる方は、同時に互助会の任意継続会員となり、互助会の短期給付事業と厚生福利事業の給付を受けることができます。

加入期間	2年間を限度
加入方法	公立学校共済組合岩手支部に「任意継続組合員申出書」(様式第60号)を提出することで、互助会への手続きは不要となります。
掛金額	退職時の掛金の基礎となった給料の月額(給料+調整額+扶養手当)×0.65/100
納入方法	6か月分又は12か月分の前納とし、その都度、振込依頼書を自宅へ送付します。
受けられる給付金	療養給付金、出産保育費、災害見舞金、弔慰金、入院見舞金、施設利用補助、保険外医療給付金、身体矯正器具等購入(修理)補助 給付内容の詳細については、互助会ホームページをご覧ください。
給付金の請求手続き	互助会のホームページから請求様式を取得し、様式記入の上、必要書類を添付し、直接互助会に請求してください。 請求書等の所属所名欄、所属所長証明欄は記入不要です。 給付金は現職会員時と同様に共済・互助会届出口座に振り込みます。

## 現在継続中の「任意継続会員」の方へ

### 令和6年度中に任意継続会員になった方

3月上旬に掛金の振込依頼書を送付しますので、期限までに掛金を納入してください。

### 任意継続会員の継続を希望しない場合

「任意継続組合員資格喪失申出書」(様式任8)を公立学校共済組合岩手支部に提出してください。

※別途共済組合より通知予定

会員番号が「S」から始まる会員の方は、互助会ホームページから「任意継続会員資格喪失申出書」(様式第206号)を取得、記入し、互助会に提出してください。

### 令和5年度中に任意継続会員になった方

資格取得日から2年経過で資格喪失となります。

令和7年4月1日時点で2年を経過していない方には、掛金の振込依頼書を送付しますので、期限までに掛金を納入してください。



## 給付金の送金不能が多発しています！

互助会では給付金等の送金を毎月15日(金融機関休業日の場合は翌営業日)に行っていますが、共済組合給付金受取口座(岩手銀行本店口座・公金受取口座)の解約等のため、送金ができない事例が多発しています。

**共済組合給付金受取口座を解約した場合や名義が変更になった場合は、速やかに共済組合に手続きをお願いします。**

また、退職などにより互助会会員の資格を喪失した後にも、療養給付金が振り込まれることがありますので、退職後6か月間は口座の解約を行わないようにお願いします。

第53回

# 岩手教育芸術祭美術展

第53回岩手教育芸術祭美術展が令和6年11月9日(土)から12日(火)の4日間、岩手教育会館を会場に開催されました。絵画(絵画・デザイン・工芸・現代美術)、書道、写真の各部門で123点の作品が出品され、審査の結果、次の方々が入賞されました。

## ◆芸術祭賞

絵画部門



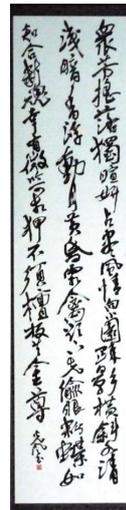
「アンサンブル」  
高橋 邦法 (紫波町)

写真部門



「豪華デザート」  
達下 進 (奥州市)

書道部門



「林逋詩」 雨森 英明 (山王小学校)

## ◆優秀賞

絵画部門

「time travel」  
「土の書」

三田 聡子 (不来方高等学校)  
阿部 龍一 (北上南中学校)

書道部門

「過香積寺」

川口 凜々 (盛岡南高等学校)

写真部門

「水面紅葉」

河東田 康昭 (奥州市)

## 会場の様子



## ◆奨励賞

絵画部門

「R286・3」  
「spindle-shaped2024\_hydrangea」

谷藤 真由美 (花巻市)  
溝口 昭彦 (盛岡市)

書道部門

「老いたカップル」  
「屋久島白谷の溪流」  
「継接ぎ」  
「経徳」  
「月照影生」  
「秋萩帖」  
「「それでは、」より」  
「草莊詩」

佐藤 榮一 (二戸市)  
佐藤 民雄 (盛岡市)  
富田 喜平司 (二戸市)  
寺崎 良謙 (平泉町)  
小森 若加子 (二戸市)  
八木橋ひろみ (盛岡市)  
横田 朗子 (北桜高等学校)  
吉田 充 (安代小学校)

写真部門

「暮れなずむ」  
「初冠雪の曙」  
「秋彩」  
「天国と地獄」  
「水色水音」

黒田 隆治 (盛岡市)  
北井崎 昇 (盛岡市)  
中嶋 敬治 (大船渡市)  
千葉 洋一 (滝沢市)  
山崎 三枝 (盛岡市)

## 審査員

絵画の部:金井 保憲 書道の部:野田 みどり 写真の部:村 井 真 ※敬称略



## 第53回岩手教育芸術祭 講演会

令和6年12月7日(土)、岩手教育会館多目的ホールを会場に、「コリア・レポート」編集長・ジャーナリストの辺真一(ピョン・ジンイル)氏を講師に迎え「日米新政権下の米朝、日韓、日朝関係の行方」と題し講演をいただきました。会場には約280人が来場し、熱心に耳を傾けました。

## 令和7年度「互助会報」表紙写真入賞者が決定しました!

互助会報表紙写真募集にご応募いただきありがとうございます。  
1月31日(金)に審査会を実施し、入賞作品が次のとおり決定しました。  
入賞作品は令和7年度に発行される「互助会報」に掲載されます。



### 最優秀賞

春の部 「絶対勝つぞ〜」  
狩野 由紀夫 (奥州市立江刺ひがし小学校)

### 優秀賞

夏の部 「いい湯だな(湯泉デビュー)」  
安保 淳 (盛岡青松支援学校)

### 入選

秋の部 「翔けぬける 秋色ロード」  
晴山 光弘 (花巻市立大迫小学校)  
冬の部 「飛ばせ!」  
大坊 明美 (花巻市立東和中学校)

### 佳作

春の部 「僕にまかせろ!」 高橋 淳 (奥州市立衣里小学校)  
「ゴール!!」 大坊 明美 (花巻市立東和中学校)  
「お花の中から何かいいもの出てくるかな?」  
大森 響生 (前沢明峰支援学校)  
夏の部 「高く!越えた!」 大坊 明美 (花巻市立東和中学校)  
「扉の向こうは・・・」 大森 響生 (前沢明峰支援学校)  
秋の部 「さわやかな汗でリフレッシュ!また頑張れる」  
小野寺 弘之 (任意継続会員)  
「柳之御所を探る秋」 長谷川 伸大 (生涯学習文化財課)  
冬の部 「落ちちゃった」 大森 響生 (前沢明峰支援学校)  
「つなぐ」 山崎 隆士 (宮古市立田老第一中学校)

### ◎審査委員長 講評

年度末も近づき繁忙の折、小学校から高等学校、事務局まで広くご応募いただきありがとうございます。

春の作品では、新年度スタートにふさわしい活発でエネルギッシュな意気込みが伝わってきました。夏から冬へと季節が進むにしたがって、減少する作品数に寂しさを感じました。冬季の写真が少なかったのは締め切り間近になったためでしょうか。

冬季はクリスマス、師走、年初めの行事、スキー、スケート、みずぎ団子づくり、雪氷などと題材は豊富なので、冬季アルバムを見直してみましよう。

急速なスマートホンの普及で写真は容易になりました。スマホの扱いは如

何でしょうか。「弘法筆を選ばず」で、写真も同様ですが、まだ、一眼レフのカメラやコンパクトカメラにはかないません。

私達は日頃、子供達の最も自然な姿を見ていると思います。

いい写真を撮りだすには、肌身離さず撮影機材を持ち歩き、できるだけ沢山撮り貯めること。一連の自然な流れの中で、捉えた動作の一コマをシンプルな構図にまとめられるといいと思います。

ほっこりとした子供達の姿、心を動かす瞬間を撮って、できた写真を何度も取り出しては見たくなる様な、最適なワンショットをお待ちいたしております。

審査委員長 北井崎 昇

## リレー企画

### 今、学校から

学校生活のできごと、  
子どもたちの活躍などを  
先生方からお伝えいただきます。

釜石市立甲子小学校  
校長 細田 多聞

本校は鉄とラグビーの町である釜石市の西部に位置し、五葉山や愛染山などの山々に囲まれ、学区内を甲子川が流れている自然豊かなところ。校章は名産甲子柿のへたを図案化しており、郷土愛と若人の情熱を表したものとなっています。

柏木野タイム(総合的な学習の時間)では、地域のひと・もの・ことを中心に地域の特徴やよさ、それを支える人々の努力や工夫等を取り上げ探求的な学習をしています。また、いのちの教育(復興教育)も位置付けながら、9月を防災月間として「そなえる」に重点をおいた学習を行っています。

具体的な実践として、3年生は「釜石ラ

ベンダープロジェクト」のラベンダー定植会に参加したり、甲子柿について調べたりしました。4年生は甲子川の水生生物の調査を行い、甲子川がきれいな水であることを、実感をもって確認することができました。5年生は「釜石鉱山」の見学などを通して釜石市の鉄づくりについて調べたり、ラグビーの歴史について調べたりして釜石市への理解を広げました。6年生は地域の未来と自分たちの未来像とのかかわりについて話し合い、自分の考えを深めました。

いのちの教育では、今年度はコミュニティ・スクールの取組と兼ねて、5、6年生児童と保護者を対象に防災講演会を行いました。「君たちはいつ避難しますか?」と題して、甲子にお住まいの気象予報士である佐々木道典様から、洪水・土砂災害時の避難のタイミングや家にいるときや学校が休みの時どのように避難すればいいのかなどについてお話をいただき、とても有意義な講演会となりました。

これからも地域を大切にしながら、地域社会に参画しようとする子供たちを育てていきたいと考えています。



水生生物調査



釜石鉱山見学



防災講演会

# わたしの見聞録

先生方による旅先の思い出や体験記をお届けします。

みなさんは「コタキナバル」と聞いてどこを思い浮かべますか？

正解した方は素晴らしい！私は、最初、南米かと勘違いしました。コタキナバルはマレーシアです。マレーシアには日本人学校が4校あります。その中で最も小さい学校であり、ボルネオ島にあるのがコタキナバル日本人学校です。児童生徒は、毎年十数人です。わたしは、1・2年生複式学級の担任でした。新入生は1人。入学式は全校が参加し、とても温かい式になりました。

「小さな校庭(まるで庭!)」で行われるビッグな運動会！イスラム教徒もいるので、ラマダン(断食期)を避けて行われます。マンゴーやバナナの木の元で行われる常夏の国ならではの運動会。少人数のため、ほと



新1年生 小学部

んど出ずっぱりで応援はもっぱら保護者。ジュース釣りなど日本では見かけない種目がほとんどでとても盛り上がります。

「リゾートホテルでの水泳学習。泳力半端ねえ！」水泳記録会も、リゾート客の見ているところで行います。自宅にプールがある児童がほとんどの上、常夏のため、一年中水泳ができるので、子供たちはとても泳力が高いです。

「バイリンガル？いいえトリリンガルです!？」多民族、多宗教の国マレーシア。子供たちもたくさんのお言葉を操ります。英語、マレー語、中国語、そして日本語。社会科見学の時は、小1の子が通訳しました(笑)。

常夏の国は、いつも、フルーツや花に囲まれていて暖かくていいなあと言われますが、生活科や理科で季節感を教えたい時などはとても困りました。日本ではおなじみのチューリップやタンポポは咲いていません。ザリガニもいません。川で魚を捕まえる学習をしたときはグッピーが釣れました。乾季の時に葉が落ちたら「これが紅葉か」とつぶやいた児童もいました(笑)。中学の理科で肺や心臓の働きの学習をする時には、校長先生が自ら中華街にいった豚の内臓を買ってきて実験をしていました。海外で働くためには、アイデアと行動力が必要なんだと痛感しました。

銀行にはライフルを持った警備員。犯罪も日本より多いです。しかし、住めば都。青い海、青い空、深い緑、カラフルな花、気持ちよく生活できました。コタキナバルでの3年間はとてもいい経験になりました。ありがとうございました。そこで学んだこと、知り合った人たちは一生の宝物です。

マニラ日本人学校はまたの機会に……。



海賊の対応のためにマレーシアに寄港した海上自衛隊の船の見学時



地元の大学主催の盆踊り会でダンスを披露した1、2年生



生活科の学習で

## PROFILLE

プロフィール

一関市立黄海小学校

教諭

伊藤 久美



2014年4月～2017年3月

コタキナバル日本人学校 赴任

2020年4月～2023年3月

マニラ日本人学校 赴任

# みんなの投稿広場



冬の部

佳作入賞作品

イルミネーション

岩手県立図書館 諸岡 理恵



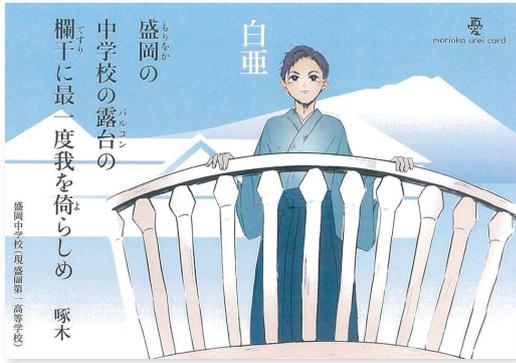
岩手の文学風土誌  
～啄木・賢治からの  
贈り物⑨～

# 望月 善次

〔岩手大学名誉教授・NPO石川啄木・  
宮澤賢治を研究し広める会理事長〕

# 名作紀行

第六十回



提供：山崎文字デザインオフィス

皆さん、その後はいかがお過ごしでしょうか。

私がこの原稿を書いているのは二〇二五年の一月末ですが、発行予定日は二月末と聞いていますので、皆さんのお手元に届くのは、二月の末か三月の初めになるのだと思います。その頃の皆さんは、年度末の目の回る様な忙しさの中におられることと思います。しかも、皆さん教員の方々のお働きが「日本の宝」であることを自覚しない、政治家・官僚・保護者の方々に囲まれての忙しさですから、皆さんの上を祈らずにはおられません。皆さんが「日本の宝」であることは、「教師教育論」を研究の柱の一つとする私の年来主張し続けているところですが、「多くの方々が、定年まで真面目に勤めてくださる。」国が世界のどこにあるのでしょうか。政治家・官僚・保護者の方々に申し上げたいことは、そんなに難しいことではありません。

例えば「先生方の働きと見合う」経済的保障をし、何かあったら「先生方は一生懸命されていて、それは世界的にも貴重なことです。私達は学校や先生方を守ります。このことが、結局、多くの生徒さんを守ることにしたいと思います。保護者のみなさんも、御自分のお子さんへの家庭教育はどうなっているかとのバランスを取りながら、御意見を寄せてください。」と言ってくだされれば良いのです。【拙論に関心のある方は、次などをご覧ください。望月善次「国語科教育学はどうあるべきか」(明治図書、二〇一〇)の「終章」など。】

さて、学生達には「下手な授業の典型は、意味の薄い冒頭に時間を取ってしまうこと。」などと言っていたのですが、随分長い前置きになってしまいましたね。

今回は、「啄木・賢治の(後期)中等学校の終わり方」がテーマです。具体的には、啄木や賢治が当時の「盛岡中学校(何度かの校名変更もあったのですが、今回はこの呼称にします。)」の教育をどう終えたのか、ということになります。

旧制「盛岡中学校」は、現在の「岩手県立盛岡第一高等学校」になるのですが、なぜ、「高校」の名前を用いずに、「(後期)中等学校」などという面倒な名前を用いたかについてお話ししましょう。それは、現在用いている「高校」という名称が、教育制度の一般的な分類の仕方からすれば誤っているからです。みなさんも御承知の様に、学校教育の段階は「初等教育(小学校)／中等教育(中学校・高等学校)／高等教育(大学・大学院)」※(一)は現行の我が国の呼び方。と分けるのが、世界的傾向になっています。

現在の日本における「高校」をこの傾向にならえば、我が国の現行の「高校」は「〇〇後期中等学校又は〇〇後期中学校」呼ぶべきでしょう。

さて、こうした「盛岡中学校」に啄木が入学したのは一八九八(明治三十一年)年、賢治入学は、その十一年後の一九〇九(明治四十二年)のことでした。最終学年を迎えたのは啄木が一九〇二(明治三十五年)年、賢治が一九一三(大正二年)のことした。

この最終学年の二人のあり様は、共に余り芳しいものではありませんでした。知っておられる方も少なくないでしょうが、啄木は、「前年度末の三月末と七月の二度のカンニングによって、「謹慎処分」となり、九月二日全校発表、十月二十七日「退学願」提出、同日退学許可となりま

す。履歴が完全になくなってしまふ「除籍」ではなく、履歴が残る「退学」であったことは、啄木自身にとっても、私の様な研究者にとっても幸いなことでした。「除籍」になったら、「同窓会名簿」に名前が残ったか、「林中書」の「盛岡中学校校友会雑誌」第九号(一九〇七(明治四〇)年)に投稿できたかは微妙な問題を残したでしょう。

一方の賢治の卒業も威張れるほどのものではありませんでした。卒業時の席次は八八人中六〇番、総合評価とも言って良い「操行」は、第一学期から第三学期までが「乙、丙、丙」でしたから、推して知るべしでしょう。賢治らしくなっていくのは卒業後の鼻の手術の為の岩手病院入



写真提供：山崎文字デザインオフィス

院、看護婦への恋以降であると言えなくもない実態でした。

賢治や啄木が中学校時代に学校の生活にそれほど真剣でなかったのは、二人共「上級学校」進学の道が閉ざされていたことによるといえるのが、今日の研究の至りについているところですが、その詳細について述べることは今回は致しません。啄木と賢治の盛岡中学校の最後はこんな風だったこともあり、その為か、直接関連する文学作品も残していないのです。そのこともあり、今回は、「岩手の文学誌」と掲げながら、関連する具体的作品の抽出は行いません。山崎文字氏の格別な御厚意による絵葉書と賢治の寄宿舎「自強寮」緑りの敷石を示すに止めたいと思います。絵葉書は、「中退した故に一層慕わしい盛岡中学校を「自強寮」については、賢治の少なくとも思いを込めようとしたものです。【提供】山崎文字デザインオフィス。なお、敷石については、次号以降で、また説明したいと思います。】